

豆田町並み通信

第37号

発行者
豆田町伝
建保存会
23年7月

豆田町伝建保存会 第七回通常総会開催！

六月八日（水）、平成二十三年度の通常総会が若の屋にて、百九十三名の会員中、出席会員七十四名、委任会員七十五名の出席で開催されました。

波多野会長代行が、「豆伝会発足以来、昨年度までに四十件の物件の修理・修景事業が終了したが、まだ多くの修理要望の物件を抱えている。伝建事業が速やかに実施される様、皆さんの協力をお願いしたい」と挨拶を行いました。

その後、事業報告・決算・事業計画・予算案が提案され、満場一致で承認されました。

主な事業計画では、(仮)防災センターの整備に伴って、その整備方針等を検討する「防災計画策定作業部会」の設置が承認され、三十名の委員への委嘱が行われました。

又豆田の良さをアピールする為の「豆田の四季」をテーマとしたフォトコンテストを実施する事も承認されました。

次に役員改選が行なわれ、以下の方が選任されました。

理事	広瀬 貞雄	監事	草野義輔
"	古賀 修三	"	石丸邦夫
"	後藤 作彦	事務局	赤司裕昭
"	中津留富子	"	富安裕子
"	坂本 韶敏	"	坂本静香
"	斉藤 文哉	顧問	江面嗣人
"	波多野 平	"	後藤 清
"	木下弘一郎	"	高山英二
"	石丸 文雄		
"	板谷 義文		
"	蔵本 勝好		
"	森山 徳子		



本年度の運動方針を話し合った総会



保存審議会開催

平成二十三年度第一回の日田市町並み保存審議会が、六月二十八日（火）日田市役所で開催されました。

審議会の中では、(仮)防災センターとして整備が予定されている旧古賀医院の建物のうち、病院棟と離れ座敷、及びレンガ塀と井戸を伝統的建造物として特定する事について、審議を行ないました。

病院棟は昭和初期（昭和七年の棟木墨書があり）の個人医院の形式をよく残し、また離れ座敷は当時の富裕層の住宅の離れ客座敷の形式を示し、貴重である事から特定する事としました。

その他の議題として「防災まちづくり計画」が提案され、災害に強いまちづくり施策が承認されました。



伝建指定の建物の可否を議論した審議会

全国大会

東近江市で開催！

五月十八日（水）～二十日（金）に行なわれた全国伝建協研修会は滋賀県東近江市で開催され、副会長の波多野・斉藤・木下の三名が参加しました。

伝建地区に選定されている東近江市の五個荘金堂地区は近江商人のふるさとと言われ、参加者は落ち着いた佇まいの商人屋敷や庭を見学しました。

また、「金堂まちなみ保存会」の活動拠点として、平成二十年に整備された「金堂まちなみ保存交流館」の内部施設なども併せて見学しました。

この地区では、高齢化と人口減による空家対策が大きな課題となっていました。

保存交流館を見学する参加者 ↓



五個荘の町並み↑を散策する参加者



祇園準備進む！

七月二十一日の駅前集団顔見世、二十三日・二十四日の本番に向けて豆田各町の山元では祇園の準備が進められています。

今年の一番山は豆田下町で華題は「道成寺 鐘入の場」、二番山は中城町で「一の谷嫩軍記 青葉の笛」、三番山は豆田上町で「壇浦兜軍記 阿古屋」、四番山は港町で「南総里見八犬伝 園塚山」となっています。

尚二十三日、二十四日の晩山時は歩行者天国となりますので警備員の指示に従い通行下さいとの事です。



山鉾を飾るパイパイの色
づけを行なう中城町



仮組した山鉾をテント小
屋に収める豆田下町

城内祇園祭のお知らせ

日時 7月23日(土) 17時~20時
場所 上城内町 八阪神社境内
生ビール、シュース、ラムネ
焼酎・焼き鳥・焼きそば
かき氷・からあげ・おにぎり
厄除けパイパイ・あやめ(200円)

《当日神社前の通りは歩行者天国になります》

主催：上城内町自治会



棒鼻洗い行事で山鉾の運
行の安全を祈願する港町



テントの中で山鉾の組立
てを行なう豆田上町

韓国全羅南道から 四十四名が視察！

六月二十二日(水) 韓国の全羅南道から日本歴史文化都市探訪団として、行政職員・議員・報道関係者・住民四十四名が豆田町を視察しました。

豆伝会より木下副会長・赤司事務局長が応対し、豆田町の歴史・祭りの現状を報告し、古い町並みを活かした活性化の取り組みを説明しました。(通訳付き)
質疑応答では「祭りを行なう上で住民の負担はあるのか」「行政の応援体制はどうなっているのか」などが出されました。

なお豆田のまつりの説明はスライドを使って行われ、「千年あかり」の様子が映し出されると、参加者からはすばらしいとの驚嘆の声が出されました。



説明を熱心に聞き入る参加者(立人は通訳)

薫長酒蔵活用で論議

五月二十六日、若の屋にて「クンチヨウ酒蔵活用」(案)についての説明会が開催されました。

この説明会では基本構想として岩澤記念美術館を含めた各種の施設整備の構想が提起されました。

薫長酒造酒蔵群の公的保存を申し込んだ豆田地区振興協議会の古賀会長は「活用方法が大規模な構想になり当惑している。建物保存の為、実現可能な方策を市に提案したい」と話していました。



フォトコンテスト応募求む！

豆田の自然とまつりをテーマにしたフォトコンテストを平成二四年三月三十一日を期限に実施しています。詳細は「豆田町商店街」のホームページをご覧ください。多数の応募を！



掲載ポスター ↑